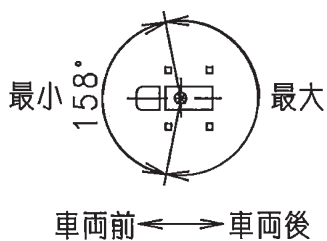
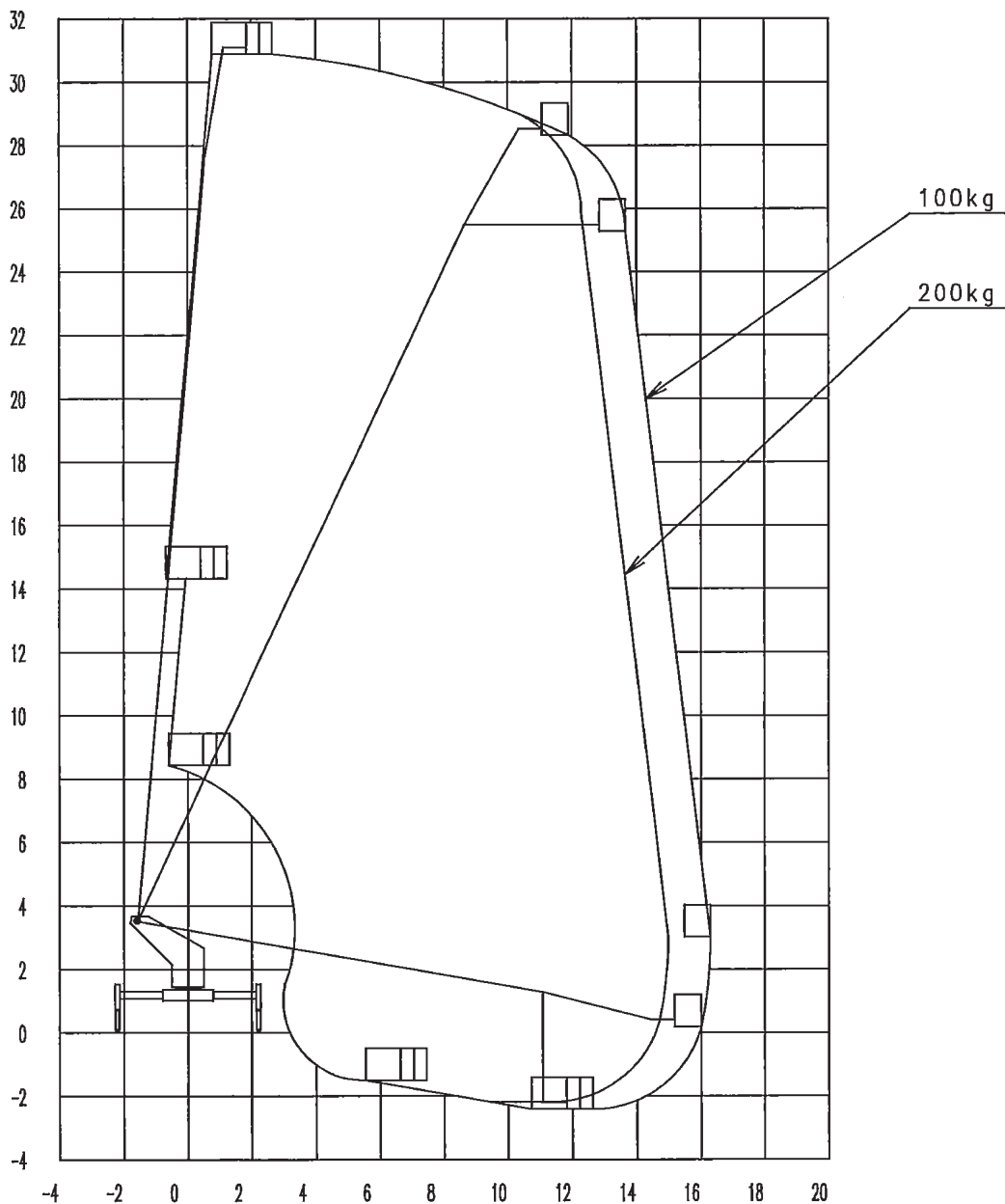


型式			SJ30ARS型高所作業車		
バスケット	積載荷重 (搭乗人員)		200kg (2名)		
	作業床最大地上高		30.6m		
	内寸法 (幅×奥行×高さ)		1.47×7.5×1.0m		
	首振り角度		左 $90^{\circ}_{-3^{\circ}}$ ~ 右 $90^{\circ}_{-3^{\circ}}$		
平行装置		電気式平衡取方式			
ブーム	型式		4段同時伸縮		
	4段 ブーム	長さ	7.60~24.22m		
		伸縮ストローク	16.62m		
		起伏角度	-10° ~ 85°		
旋回角度		360° 全旋回			
アウトリガ	張出幅		1990~4420mm		
	アウトリガストローク		1215mm		
	ジャッキストローク		645mm		
油圧装置	オイルリザーバ容量		100L		
	推奨作動油		シェルテラス T 2 2		
	リリーフ 圧力	メインリリーフ圧力		20.8 $^{+0.5}_{0}$ MPa {212 $^{+5}_{0}$ kgf/cm ² }	
		レベリングリリーフ圧力		26.5 $^{+0.5}_{0}$ MPa {270 $^{+5}_{0}$ kgf/cm ² }	
		起伏下回路圧力		11.8 $^{+0.5}_{0}$ MPa {120 $^{+5}_{0}$ kgf/cm ² }	
		上部油圧取出回路圧力		—————	
		下部油圧取出回路圧力		—————	
	油圧ポンプ	型式		ギヤー式一連	
		理論吐出量		32.5+32.5	
		定格 回転送度	アイドルリング	エンジンアイドルリング	
低速			700 $^{+50}_{0}$ rpm		
高速		900 $^{+50}_{0}$ rpm			
作動速度	条件	ポンプ回転速度		900 $^{+50}_{0}$ rpm	
		バスケット荷重条件		100kg又は1名乗員	
		油温		40±10°	
	上部操作	起伏 (ブーム全縮)	上	-10~85° /55±9s	
			下	-10~85° /45±7s	
		伸縮 (起伏角最大)	伸縮	16.62m/65±11s	
			伸縮	16.62m/55±9s	
		旋回 (ブーム全縮) (起伏角最大)	右	1 $^{+0.2}_{-0.14}$ rpm {60±10s}	
			左	1 $^{+0.2}_{-0.14}$ rpm {60±10s}	
	屈伸	開	87° /60±10s		
		閉	87° /60±10s		
	バスケット首振り		180° /14s		
	下部操作	起伏 (ブーム全縮)	上	-10~85° /55±9s	
			下	-10~85° /45±7s	
		伸縮 (起伏角最大)	伸縮	16.62m/65±11s	
			伸縮	16.62m/55±9s	
		旋回 (ブーム全縮) (起伏角最大)	右	1 $^{+0.2}_{-0.14}$ rpm {60±10s}	
左			1 $^{+0.2}_{-0.14}$ rpm {60±10s}		
屈伸	開	87° /60±10s			
	閉	87° /60±10s			

最大

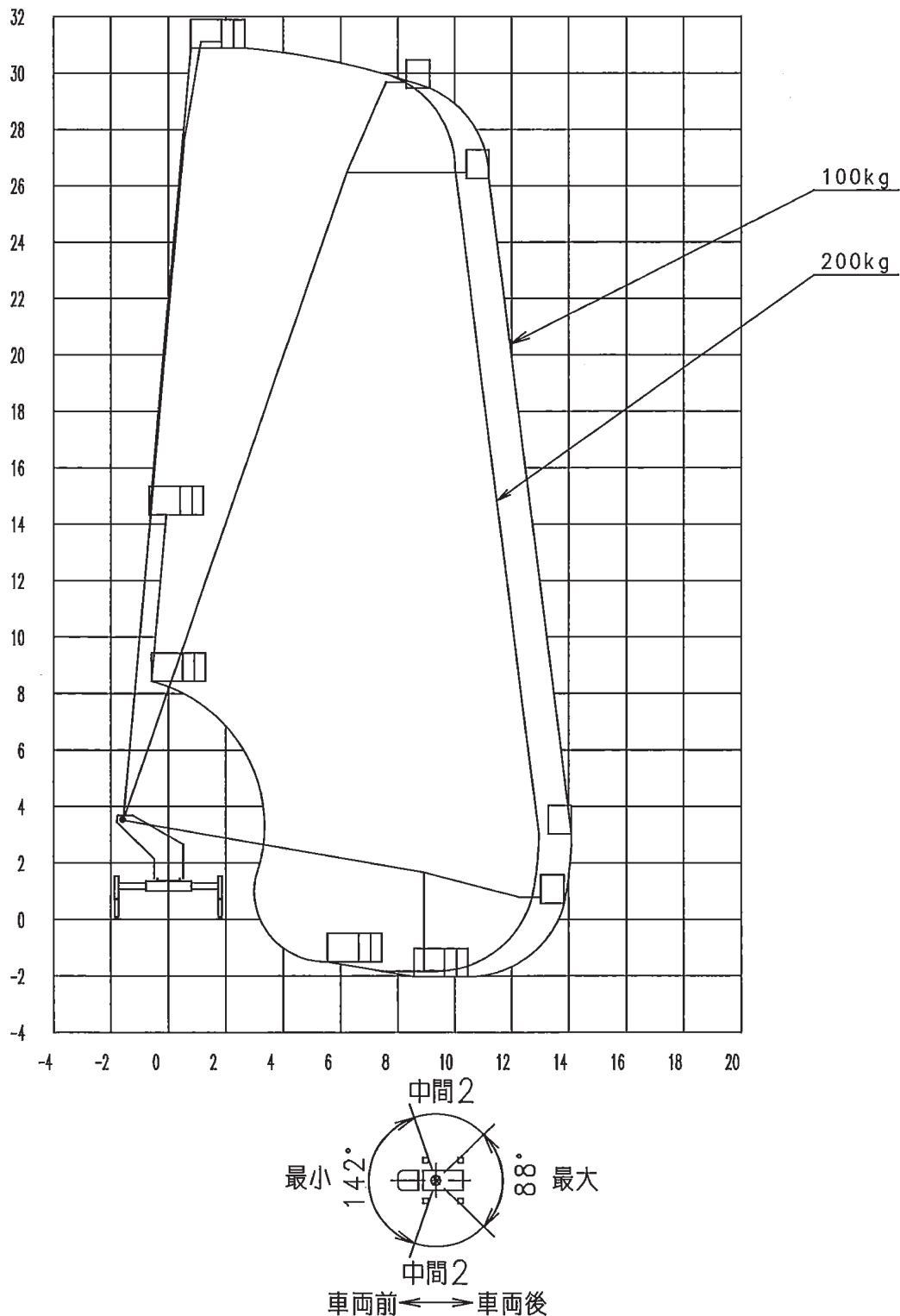


作業範囲図はブームのたわみ及び干渉規制部分は考慮されていません。

作業範囲はジャッキを水平堅土上に設置し、ブームが車両直角方向にある場合を示します。

アウトリガの張出量及びブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します。

中間2

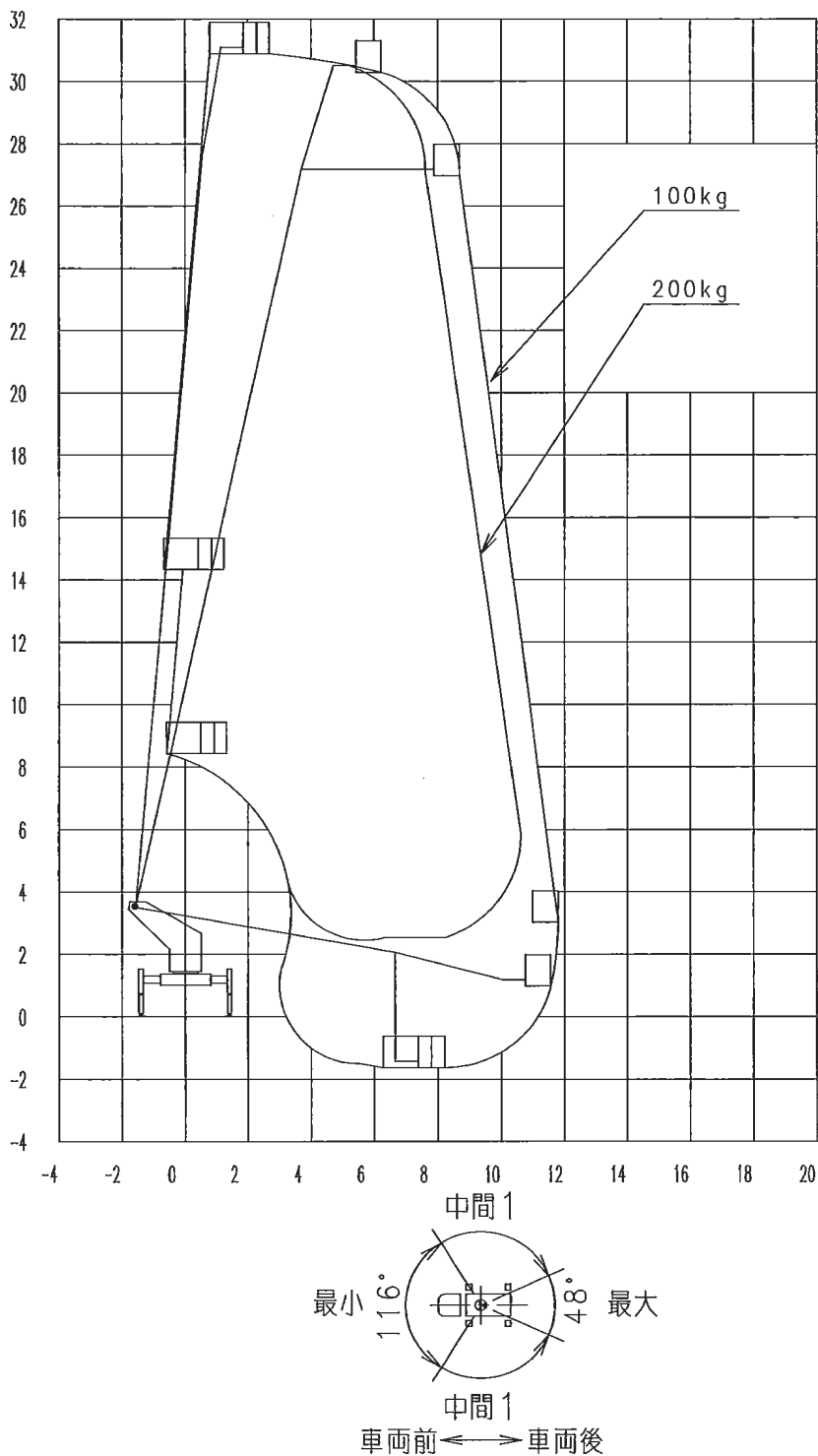


作業範囲図はブームのたわみ及び干渉規制部分は考慮されていません。

作業範囲はジャッキを水平堅土上に設置し、ブームが車両直角方向にある場合を示します。

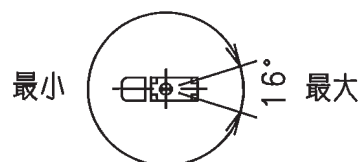
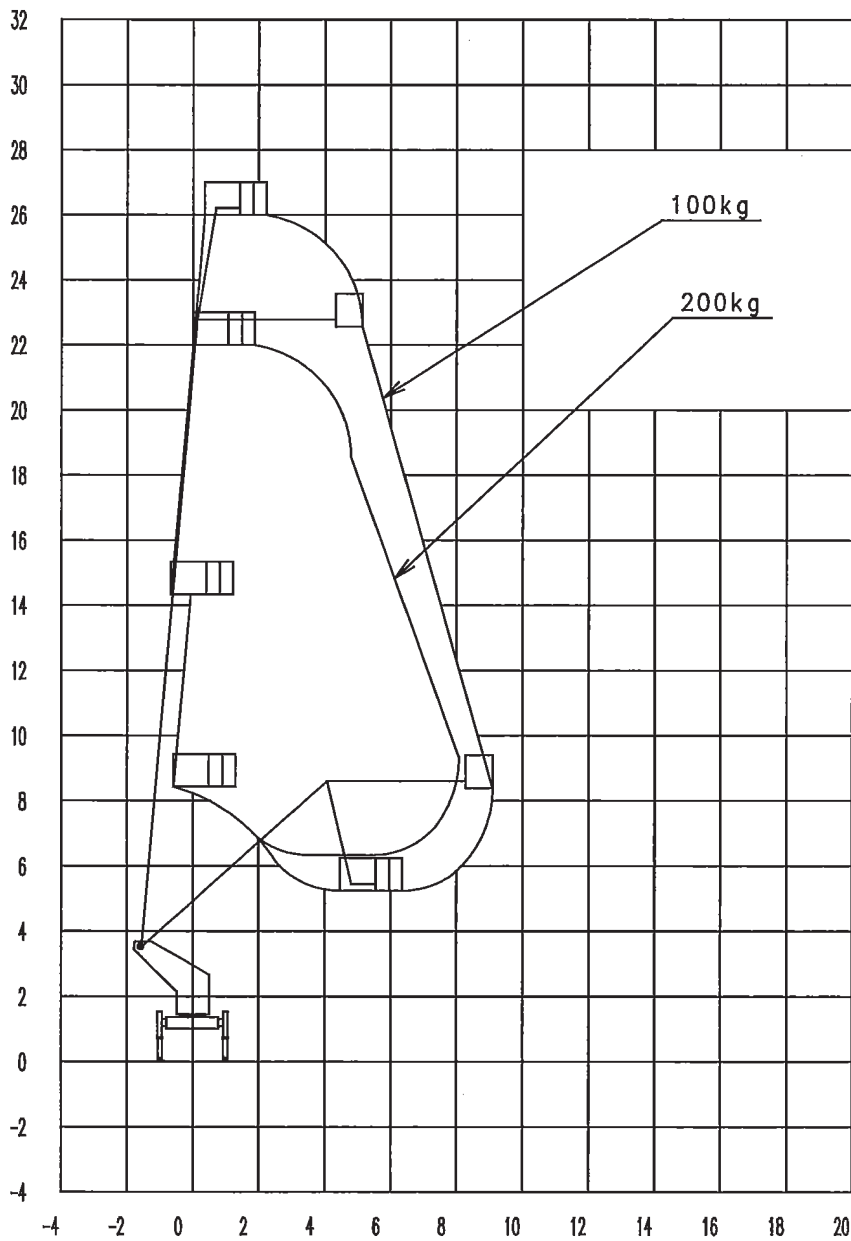
アウトリガの張出量及びブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します。

中間 1



作業範囲図はブームのたわみ及び干渉規制部分は考慮されていません。
 作業範囲はジャッキを水平堅土上に設置し、ブームが車両直角方向にある場合を示します。
 アウトリガの張出量及びブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します。

最小



車両前 ← → 車両後

作業範囲図はブームのたわみ及び干渉規制部分は考慮されていません。
 作業範囲はジャッキを水平堅土上に設置し、ブームが車両直角方向にある場合を示します。
 アウトリガの張出量及びブームの旋回角度に応じて作業範囲は変化します。